



DIYで空き家を手直し 田舎暮らしを開拓してみませんか

野室区(伊根町本庄)

大自然と魅力的な人財が暮らす野室区
異なる文化を受け入れ伝統をつくる集落



野室区の祭り・暮らし

7月
海岸清掃



8月
宵宮



2月
初午祭



のぼりを立てた俵そりを子どもたちが愛宕山の稲荷神社まで引っ張る、野室区に代々受け継がれてきた祭。伝統的な祭ですが、鳥居を地域の人が塩ビパイプで作るなど、新旧織り交ぜ楽しく地域行事を続けています。移住前の参加も大歓迎!

冬以外
草刈り



通年宴





野室区はこんなところ！

人口	29人(野室区R2)、745人(伊根町本庄R1)
学校	本庄保育所 本庄小学校(バス通学) 伊根中学校(バス通学)
病院	本庄診療所
買い物	農協まで自動車で10分
アクセス	京都丹後鉄道天橋立駅から野室区まで自動車で約45分 宮津天橋立ICから野室区まで自動車で約40分

観光地として有名な舟屋群から車で約10分、美しい日本海を展望し自然豊かな山の中に、ぼつんと野室区があります。人口は29人、2019年には、集落では20年ぶりとなる子どもが誕生しました。全国的に地方の過疎化が加速する中で、2018年から移住者を受け入れるために、「ちょいすみプロジェクト」をスタート。移住者が一時的に滞在できるお試し住宅を区民みんなでDIYで整備しました。海岸へ続く通路や日本海を臨む展望台の整備など、毎年新しい取り組みが生まれています。野室区は、今の暮らしを少し良くするための挑戦に対して、寛容で協力的です。今も何か新しいプロジェクトが始動しています。

先輩移住者紹介！

前野真一(2011年Uターン)、加陽(結婚で2016年Iターン)

野室の一番の魅力は『人』です。手に職を持つ人材が豊富なので、困った時は相談したり、自分の技術を提供したり、支え合いながら暮らしています。集落の水道は、昔から湧水を使っていて、(湧水で淹れるコーヒーやお米は絶品です。)限られた水源を思いやりの心で共有してきました。そんな当たり前から、スキルをシェアする習慣が根付いているのだと思います。真一は元IT企業に勤務してたのでパソコン関連に強く、加陽はドイツ在住歴があり、仕事は舟屋地区の観光ガイドをしていて英語が話せます。

野室区は、伝統や慣習の縛りが少なく、変化を柔軟に受け入れ、区民の豊かさを優先する集落です。新しい移住者には、沢山個性を出してほしいと思っています。新たな個性が野室区にどんな影響を与えるのか楽しみでワクワクしています。共に豊かな暮らしを開拓していきましょう！



地域のサポート体制！



空家持ち主との交渉支援

- 現在野室区内に空き家が4軒あり、持ち主との取り次ぎ等をサポートします。

宿泊施設等

- お試し住宅「ちょいすみ」令和3年完成予定
(既に入居者確定のため、利用状況は要確認)

近隣地区を含めた暮らしの支援

- 野室区に限らず、地方への移住を検討されている方のお困りごとに関する相談
- 伊根町内のキーマンのご紹介
- DIY改修される際に工具を貸出し可能です。

こんな人に移住してほしい

- 手に職がある人
- 自ら仕事を作り出せる人
- 新しい挑戦を積極的に楽しんでくれる人
- 集落の村仕事に参加してくれる人
- 祭やイベントに楽しんで参加してくれる人
- 定年を迎えるまでの若年層や夫婦



野室区への移住の相談窓口

Facebook @ChoisumiNomuro
Instagram @nomurochoisumi
Mail nomurochoisumi@gmail.com
TEL 080-6173-7444(担当:前野)
Clubhouse [真一 前野][Kaya Maeno]
登録していますゆる〜い感じで、お話ししよう